

**製品名: ISG15 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21492**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体                                  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ICC/IF,ELISA,IP                               |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG,Kappa  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。               |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質        |
| 精製     | プロテイン A  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW:18kD;Observed MW:18kD                                    |

**抗原情報**

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 遺伝子名         | ISG15            |
| 別名           |                  |
| 遺伝子 ID       | 9636.0           |
| SwissProt ID | P05161           |
| 免疫原          | ヒト ISG15 の合成ペプチド |

**背景**

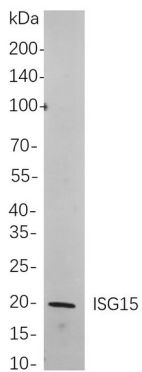
細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質はユビキチン様タンパク質であり、インターフェロン  $\alpha$  およびインターフェロン  $\beta$  によって活性化されると細胞内の標的タンパク質に共役する。コードされるタンパク質には、好中球に対する走化性

活性、連結された標的タンパク質の中間径フィラメントへの誘導、細胞間シグナル伝達、ウイルス感染時の抗ウイルス活性など、いくつかの機能があるとされている。このタンパク質の共役体は中間径フィラメントに非共有結合的に結合していることが分かっているが、分泌されることもある。[RefSeq 提供、2012年12月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ISG15 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。